



◆新型コロナ関係

3年間続いたコロナ感染症は、分類が4月から2類から5類に変わることになりました。インフルエンザと同等の取り扱いで、濃厚接触者の規制がなくなり、隔離の必要もなくなります。

医療の公費負担などまだ詰めなければいけない課題はあるようですが、5類になることで実際の医療の現場はどのようになるのかは、ちょっと読めません。

今まで発熱者の診療を拒否していた医療機関がすぐに応じるようになるのでしょうか。標準的感染防御は必要としても、N95マスクやフェイスシールドをすぐになくすることができるのでしょうか。保健所が関与しなくなると、重症者の受け入れ先を誰がさがすのでしょうか。病院は動線を考えずに受け入れ可能でしょうか。

コロナがインフルエンザと同等とする向きもありますが、インフルは年に1度の感染期ですがコロナは年に何度か感染拡大があります。重症化しないといえども、年に何度も感染が広がると、医療機関はその対応に大わらわになるのは間違いありません。ポストコロナで考えることがますます増えそうです。



最上は良の敵なり

最上策を期して遅疑すれば、遂に次第の良策をも決行する機会を失することがある。ベストは希求すべきも予期すべからざるものである。

私のメンターのひとりである元海上自衛隊護衛艦艦長の是本信義さんに教えていただいた言葉です。

小田原評定に終始することなく、「巧遅は拙速に如かず」で物事をすすめることの重要性がよく分かります。

◆今週の院長予定

1月23日	月	8:00法人会議、13:00シルバーカレッジ講演、15:00大学関連病院長会議、17:30経営会議
1月24日	火	9:00外来、14:00手術
1月25日	水	松江 作業・理学国試対策講義、私立学校調査、運営会議
1月26日	木	香川大学医学部訪問
1月27日	金	9:00外来、14:00手術
1月28日	土	9:45新須磨クリニック健診業務

◆私の本棚

・日本人の真価

藤原正彦 文春新書

数学者でエッセイストが絶妙な語り口で書いたエッセイ集。日本古来の美意識と武士道精神を散りばめ、ニッポン再生やコロナ後の世界そして日本の品格について述べている。気楽の読めて内容の深い、秀逸の作品。

・死は存在しない

田坂広志 光文社新書

物理学者で思想家が宇宙のすべての情報を記憶する「ゼロポイントフィールド」について詳細に述べた本。あの世、神、仏の世界も、ゼロポイントフィールドのことであり、瞑想・坐禅など、自己を消すことでこれにつながるができる。自我ではなく超自我の世界にはいることで、これらの情報に触れることができる。アインシュタイン、スティーブ・ジョブズ、渡部昇一、松下幸之助などが同じことを言っているのが興味深い。



慈恵会グループの職員でも
あまり知らない情報です

④松江総合医療専門学校は

松江市からの誘致校である

当時の故宮岡松江市長の強い要請を受けて、阪神淡路大震災から3年後の1998年に介護福祉科で開校したのが始まりです。その後学科の増減があり、現在は看護学科・作業療法学科・理学療法学科の3学科で運営しています。

今までに、松江市を中心に2300人余りの卒業生を送りだし、今年で開校25年という節目の年となります。少子化で学生募集に苦労していますが、上定松江市長はじめ松江市の支援を仰ぎながら、松江市になくてはならない医療専門学校として、これからも松江市の発展に微力ながら役に立ちたいと考えています。